

USバンクローンファンド 為替ヘッジあり(毎月分配型)

2015年7月31日
(月次改訂)



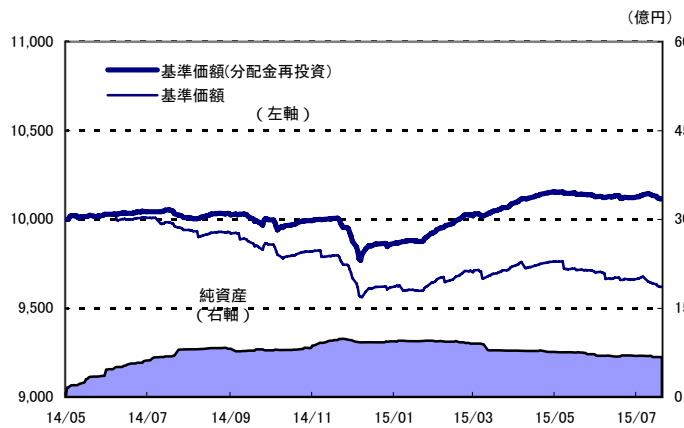
追加型投信/海外/その他資産(金銭債権)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化; 日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 9,622円

※分配金控除後

純資産総額 6.7億円

- 信託設定日 2014年5月13日
- 信託期間 2023年11月20日まで
- 決算日 原則、毎月19日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	-0.0%
3ヵ月	-0.2%
6ヵ月	2.4%
1年	0.7%
3年	-

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に選んだ期間としております。

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2015年7月	35円
2015年6月	35円
2015年5月	35円
2015年4月	35円
2015年3月	35円

設定来 1.2%

設定来累計 490円

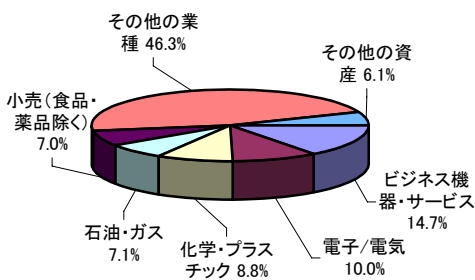
設定来=2014年5月13日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2015年7月31日 現在

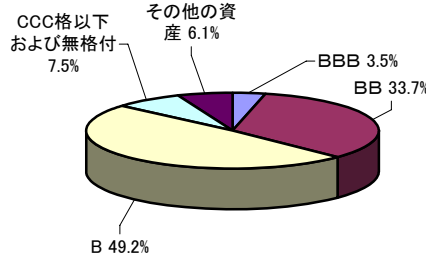
業種別配分(対純資産比)



・業種はS&P分類によります。

・純資産比は、指定投資信託証券の純資産比と当ファンドが保有する指定投資信託証券の組入比率から算出しております。

格付別配分(対純資産比)



・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。

ポートフォリオ特性値

平均スプレッド	4.1%
平均直利	5.1%
平均最終利回り	5.2%
平均最終利回り(為替ヘッジ後)	5.0%
平均デュレーション	0.2年
平均残存年数	5.2年

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入ローン等の各特性値(スプレッド、直利、最終利回り、デュレーション、残存年数)を、その組入比率で加重平均したものです。米ドル建て。平均最終利回り(為替ヘッジ後)は、為替ヘッジコスト/プレミアムを反映し、表示しています。デュレーション: 金利がある一定割合で変動した場合、バンクローン等の価格がどの程度変化するかを示す指標。一般にバンクローンのクーポンは変動金利となっており、同年限の固定利付債と比較すると、市場金利変動による取引価格の変動幅が相対的に小さくなる傾向にあります。

組入上位10銘柄

2015年7月31日 現在

銘柄	業種	格付	純資産比
Southcross Holdings Borrower LP	石油・ガス	B	1.4%
Anchor Glass	容器・ガラス製品	BB-	1.3%
First Data Corporation	金融機関	BB-	1.3%
Shearer's Foods, Llc	食品	CCC+	1.3%
Victory Capital Management Inc.	証券会社・投資銀行	BB-	1.3%
Dell International Llc	電子/電気	BBB	1.3%
Azure Midstream Holdings LLC	各種金属/鉱業	B+	1.1%
Veresen Midstream Limited Partnership	石油・ガス	BB-	1.1%
Academy Ltd	小売(食品・薬品除く)	B	1.1%
Univar Inc	化学・プラスチック	BB-	1.1%
合計			12.1%

組入銘柄数: 184銘柄

・業種はS&P分類によります。
・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。
・純資産比は、指定投資信託証券の純資産比と当ファンドが保有する指定投資信託証券の組入比率から算出しております。

(出所)ドイツ銀行グループ提供資料等を基に野村アセットマネジメント作成

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてはご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員

USバンクローンファンド 為替ヘッジなし(毎月分配型)

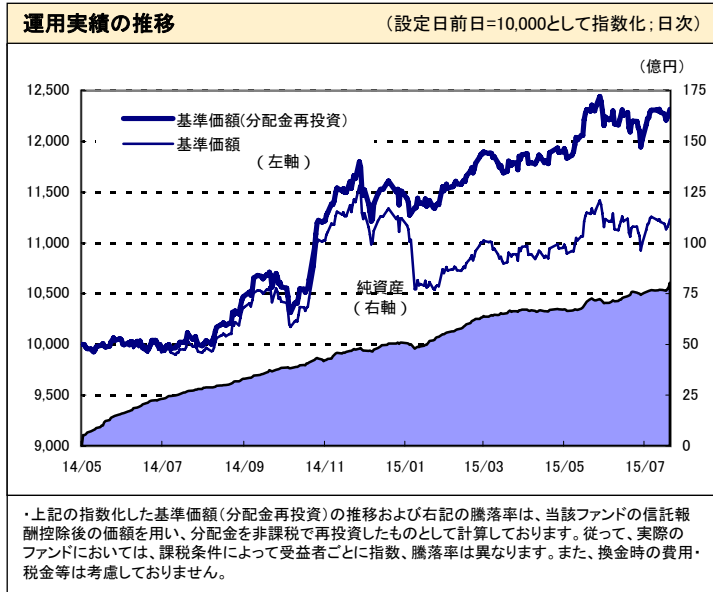
2015年7月31日
(月次改訂)



追加型投信/海外/その他資産(金銭債権)

運用実績

2015年7月31日 現在



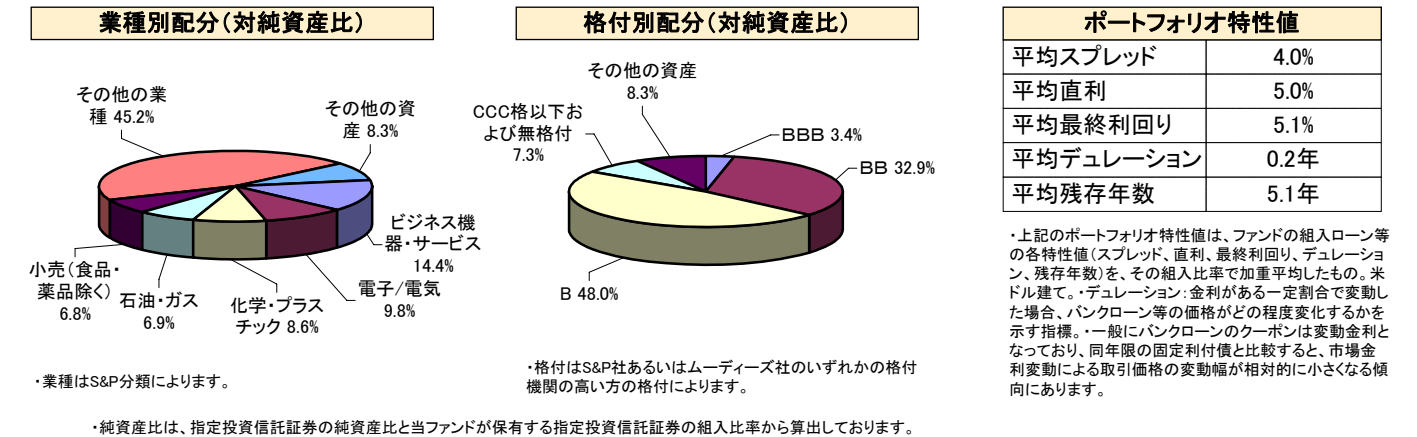
基準価額※	11,232円	●信託設定日 2014年5月13日 ●信託期間 2023年11月20日まで ●決算日 原則、毎月19日 (同日が休業日の場合は翌営業日)
	※分配金控除後	
純資産総額	80.4億円	
騰落率		
期間	ファンド	
1カ月	1.5%	
3カ月	4.5%	
6カ月	7.9%	
1年	21.7%	
3年	-	
騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に選った期間としております。		
設定来	23.2%	設定来累計 990円

設定来=2014年5月13日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2015年7月31日 現在



組入上位10銘柄

2015年7月31日 現在

銘柄	業種	格付	純資産比
Southcross Holdings Borrower LP	石油・ガス	B	1.4%
Anchor Glass	容器・ガラス製品	BB-	1.2%
First Data Corporation	金融機関	BB-	1.2%
Shearer's Foods, Llc	食品	CCC+	1.2%
Victory Capital Management Inc.	証券会社・投資銀行	BB-	1.2%
Dell International Llc	電子/電気	BBB	1.2%
Azure Midstream Holdings LLC	各種金属/鉱業	B+	1.1%
Veresen Midstream Limited Partnership	石油・ガス	BB-	1.0%
Academy Ltd	小売(食品・薬品除く)	B	1.0%
Univar Inc	化学・プラスチック	BB-	1.0%
合計			11.8%

組入銘柄数: 184 銘柄

・業種はS&P分類によります。
・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。
・純資産比は、指定投資信託証券の純資産比と当ファンドが保有する指定投資信託証券の組入比率から算出しております。

(出所)ドイツ銀行グループ提供資料等を基に野村アセットマネジメント作成

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてはご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員

USバンクローンファンド 為替ヘッジあり(年2回決算型)

2015年7月31日
(月次改訂)



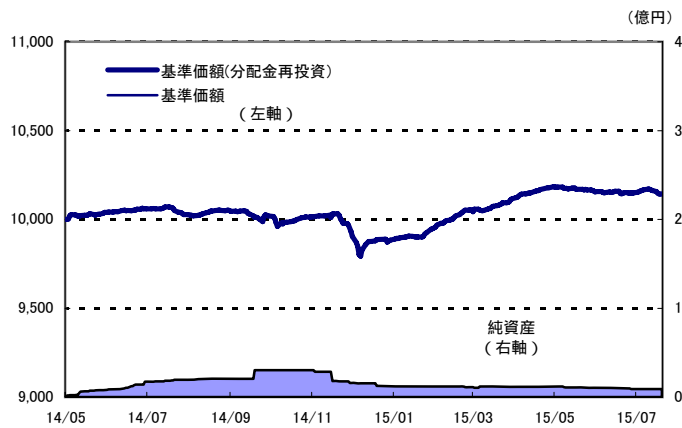
追加型投信/海外/その他資産(金銭債権)

運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化; 日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※	10,144円
※分配金控除後	

純資産総額	0.9億円
-------	-------

騰落率	
期間	ファンド
1カ月	-0.0%
3カ月	-0.2%
6カ月	2.5%
1年	0.8%
3年	-

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	1.4%
-----	------

- 信託設定日 2014年5月13日
- 信託期間 2023年11月20日まで
- 決算日 原則5月、11月の各19日(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移	
2015年5月	0円
2014年11月	0円
2014年5月	0円
-	-
-	-

設定来累計	0円
-------	----

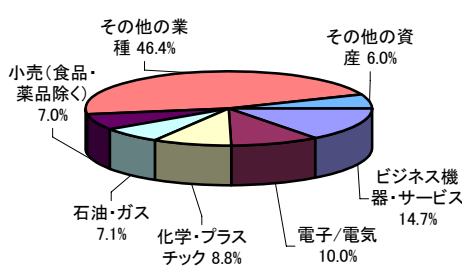
設定来=2014年5月13日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目録見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2015年7月31日 現在

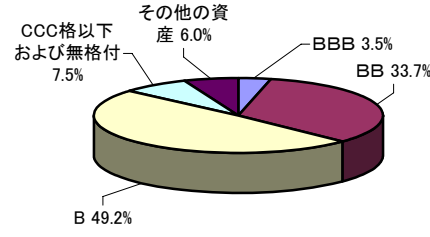
業種別配分(対純資産比)



・業種はS&P分類によります。

・純資産比は、指定投資信託証券の純資産比と当ファンドが保有する指定投資信託証券の組入比率から算出しております。

格付別配分(対純資産比)



・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。

ポートフォリオ特性値

平均スプレッド	4.1%
平均直利	5.1%
平均最終利回り	5.2%
平均最終利回り(為替ヘッジ後)	5.0%
平均デュレーション	0.2年
平均残存年数	5.2年

・上記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入ローン等の各特性値(スプレッド、直利、最終利回り、デュレーション、残存年数)を、その組入比率で加重平均したものです。米ドル建て。平均最終利回り(為替ヘッジ後)は、為替ヘッジコスト/プレミアムを反映し、表示しています。デュレーション: 金利がある一定割合で変動した場合、バンクローン等の価格がどの程度変化するかを示す指標。一般にバンクローンのクーポンは変動金利となっており、同年限の固定金利付債と比較すると、市場金利変動による取引価格の変動幅が相対的に小さくなる傾向にあります。

組入上位10銘柄

2015年7月31日 現在

銘柄	業種	格付	純資産比
Southcross Holdings Borrower LP	石油・ガス	B	1.4%
Anchor Glass	容器・ガラス製品	BB-	1.3%
First Data Corporation	金融機関	BB-	1.3%
Shearer's Foods, Llc	食品	CCC+	1.3%
Victory Capital Management Inc.	証券会社・投資銀行	BB-	1.3%
Dell International Llc	電子/電気	BBB	1.3%
Azure Midstream Holdings LLC	各種金属/鉱業	B+	1.1%
Veresen Midstream Limited Partnership	石油・ガス	BB-	1.1%
Academy Ltd	小売(食品・薬品除く)	B	1.1%
Univar Inc	化学・プラスチック	BB-	1.1%
合計			12.1%

組入銘柄数: 184銘柄

・業種はS&P分類によります。
・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。
・純資産比は、指定投資信託証券の純資産比と当ファンドが保有する指定投資信託証券の組入比率から算出しております。

(出所)ドイツ銀行グループ提供資料等を基に野村アセットマネジメント作成

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてはご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員

USバンクローンファンド 為替ヘッジなし(年2回決算型)

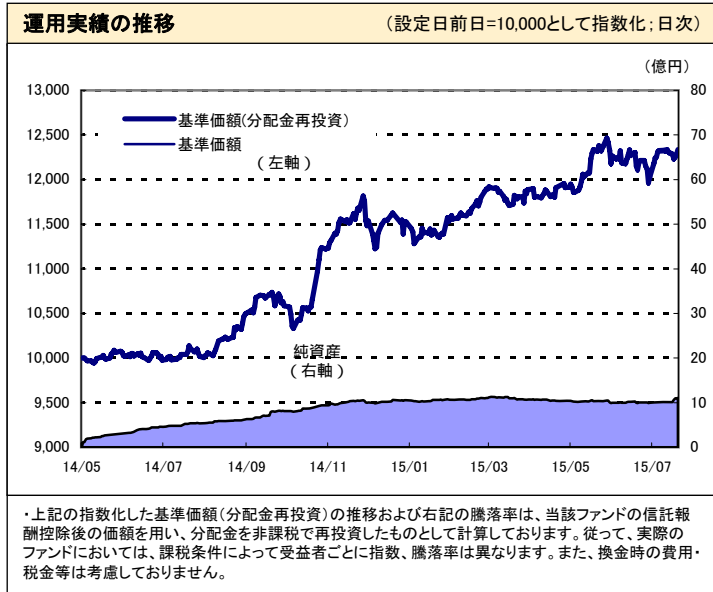
2015年7月31日
(月次改訂)



追加型投信/海外/その他資産(金銭債権)

運用実績

2015年7月31日 現在



基準価額※	12,316円
※分配金控除後	

純資産総額	11.1億円
-------	--------

騰落率	
期間	ファンド
1か月	1.5%
3か月	4.5%
6か月	7.9%
1年	21.7%
3年	-

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来	23.4%
-----	-------

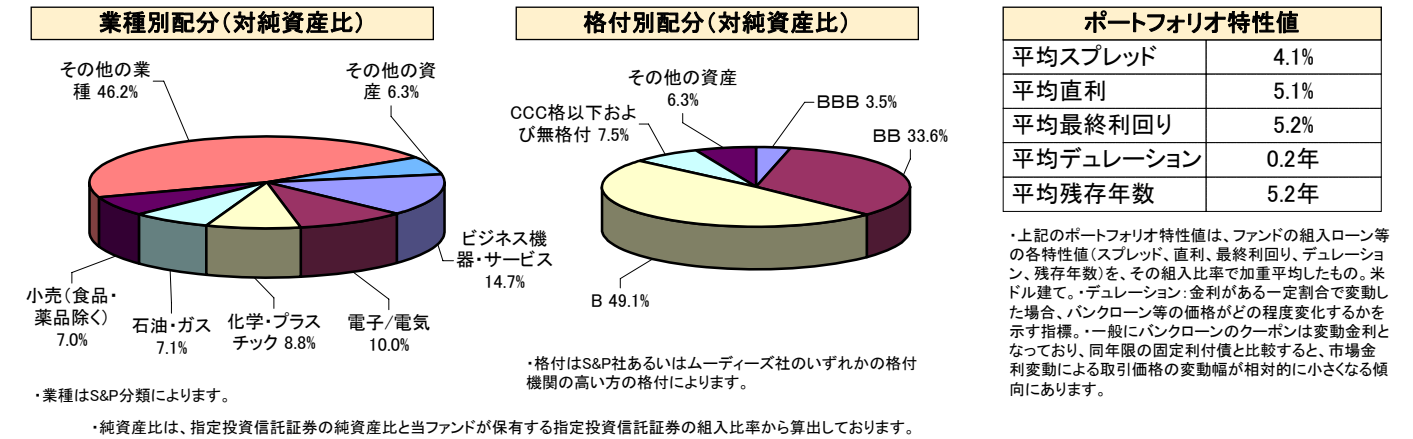
- 信託設定日 2014年5月13日
- 信託期間 2023年11月20日まで
- 決算日 原則5月、11月の各19日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万円当たり、課税前)の推移	
年月	金額
2015年5月	10円
2014年11月	10円
2014年5月	0円
-	-
-	-

設定来=2014年5月13日以降
※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2015年7月31日 現在



組入上位10銘柄

2015年7月31日 現在

銘柄	業種	格付	純資産比
Southcross Holdings Borrower LP	石油・ガス	B	1.4%
Anchor Glass	容器・ガラス製品	BB-	1.3%
First Data Corporation	金融機関	BB-	1.3%
Shearer's Foods, Llc	食品	CCC+	1.3%
Victory Capital Management Inc.	証券会社・投資銀行	BB-	1.3%
Dell International Llc	電子/電気	BBB	1.3%
Azure Midstream Holdings LLC	各種金属/鉱業	B+	1.1%
Veresen Midstream Limited Partnership	石油・ガス	BB-	1.1%
Academy Ltd	小売(食品・薬品除く)	B	1.1%
Univar Inc	化学・プラスチック	BB-	1.1%
合計			12.0%

組入銘柄数: 184銘柄

- ・業種はS&P分類によります。
- ・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。
- ・純資産比は、指定投資信託証券の純資産比と当ファンドが保有する指定投資信託証券の組入比率から算出しております。

(出所)ドイツ銀行グループ提供資料等を基に野村アセットマネジメント作成

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてはご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員
 一般社団法人日本投資顧問業協会会員

USバンクローンファンド

為替ヘッジあり(毎月分配型) / 為替ヘッジなし(毎月分配型)
 為替ヘッジあり(年2回決算型) / 為替ヘッジなし(年2回決算型)

2015年7月31日
 (月次改訂)

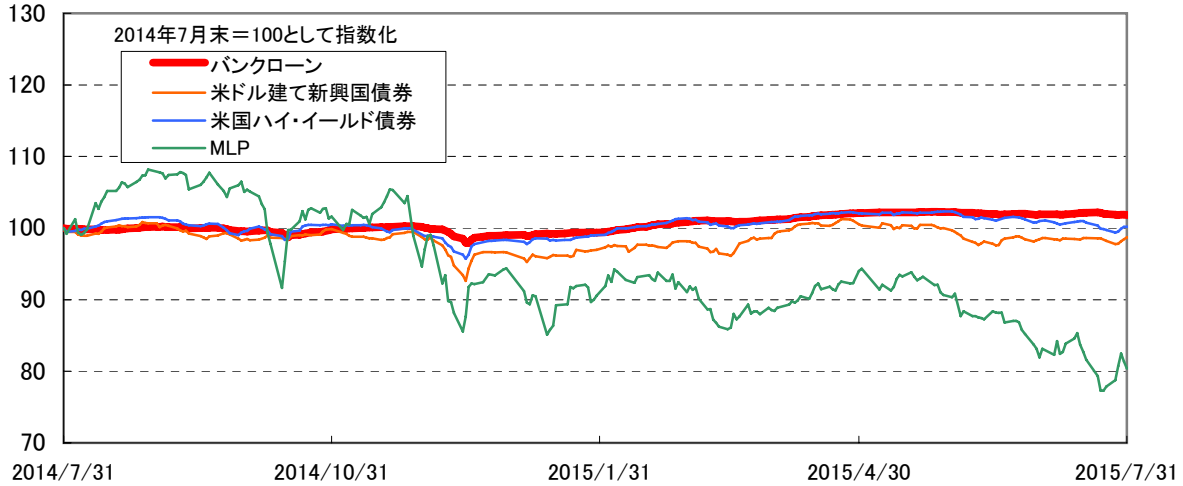


追加型投信 / 海外 / その他資産(金銭債権)

バンクローンと各資産の指数および為替レートと短期金利(日次)

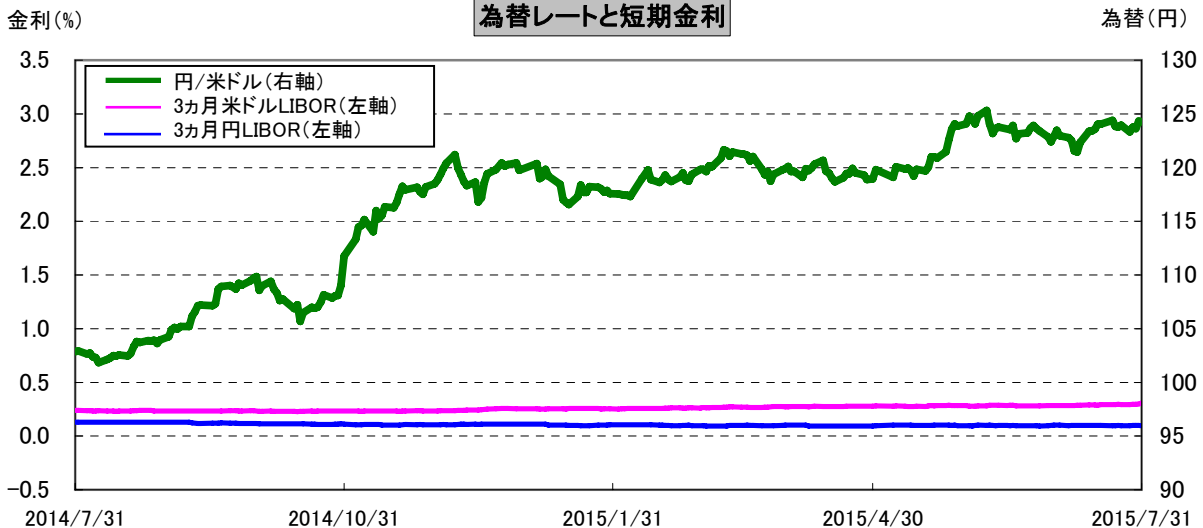
2015年7月31日 現在

バンクローンと各資産の指数



・出所:ブルームバーグ、Alerianのデータを基に野村アセットマネジメント作成
 バンクローン: S&P/LSTAレバレッジド・ローン・インデックス(米ドルベース)
 米ドル建て新興国債券: JP モルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル(米ドルベース)
 米国ハイ・イールド債券: BofA・メリルリンチ・USハイ・イールド・コンストレインド・インデックス(米ドルベース)
 MLP[※]: Alerian MLP Index(配当込み、米ドルベース)
 ※MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)とは、米国で行なわれている共同投資事業形態の1つで、米国の金融商品取引所(NYSEやNASDAQ等)で取引されています。
 ・JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル(JP Morgan Emerging Market Bond Index Global)は、J.P.Morgan Securities LLCが公表しているエマージング・マーケット債を対象としたインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。BofA・メリルリンチ・USハイ・イールド・コンストレインド・インデックス(BofA Merrill Lynch US High Yield Constrained Index)は、バンクオブアメリカ・メリルリンチが算出する、米国のハイ・イールド・ボンド市場全体のパフォーマンスを表す代表的な指数であり、当該インデックスに関する一切の知的財産権その他一切の権利はバンクオブアメリカ・メリルリンチに帰属しております。
 ・Alerian MLP Indexは、Alerianの商標であり、当該インデックスに関する全ての権利はAlerianに帰属します。
 ・上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

為替レートと短期金利



・出所:ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成
 ・上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員
 一般社団法人日本投資顧問協会会員



先月の投資環境

○7月のバンクローン市場は、主に機関投資家が投資対象とするCLO(バンクローン等を担保資産とする証券化商品)の組成は前月に比べ減少した一方で、個人投資家については、同市場に対する資金フローは前月の流出から小幅ながら流入に転じました。代表的なバンクローンの指数であるS&P/LSTAレバレッジド・ローン指数のリターンは、原油価格等の商品市況が軟調に推移したことを受けて、リスク資産について慎重姿勢が見られたことなどからゼロ近辺となりました。セクター別では、石油関連や鉱業関連セクターが振るいませんでした。また、格付け別のパフォーマンスでは、BB格が最も高く、次いでB格、CCC格の順となりました。

○米国10年国債利回りは低下(価格は上昇)しました。月初、6月の非農業部門雇用者数や平均時給の伸びが市場予想を下回ったことなどを背景として、債券利回りは低下しました。その後、FRB(米連邦準備制度理事会)のイエレン議長が講演で、年内の利上げを示唆したことなどから利回りが上昇(価格は下落)する局面もありましたが、月末にかけては原油安などを背景に利回りは低下し、月間でも低下しました。

○ドル・円相場は、月間でドル高・円安となりました。月初、ギリシャの国民投票で財政緊縮策に対する反対派が勝利したことで、同国の債務問題の先行き不透明感が高まったことに加えて、中国株の急落を受け、リスク回避姿勢が高まり、安全資産とされる円が買われました。その後は、ギリシャ金融支援策が合意されたことや中国株式市場が沈静化したことを受け、ドルは円に対して上昇し、月間ではドル高・円安となりました。

○米国株式市場は上旬、ギリシャ国民投票で緊縮財政への反対が多数となり、先行き不透明感から一時下落しましたが、ギリシャ政府が財政改革等に取り組む姿勢に転じ、持ち直しました。さらに中旬には、ギリシャがEU(欧州連合)と金融支援の再開で基本合意に達したことなどから堅調な推移となりました。下旬に入ると、一部米国企業の低調な4-6月期決算などを背景に下落基調となりましたが、月末にかけてはFOMC(米連邦公開市場委員会)声明で慎重な利上げ姿勢などが示されたことなどから再び上昇し、月間で上昇となりました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○月間の基準価額(分配金再投資)の騰落率は、為替ヘッジあり(毎月分配型)、為替ヘッジあり(年2回決算型)は、保有していたバンクローンがほぼ横ばいだったことから、それぞれ-0.02%、-0.02%となりました。為替ヘッジなし(毎月分配型)、為替ヘッジなし(年2回決算型)は、ドル・円の為替レートが前月末と比べドル高・円安となったことがプラスに寄与し、それぞれ+1.50%、+1.53%となりました。

- 当ファンドでは、7月末時点でバンクローンの組入銘柄数は184銘柄となりました。
- 格付別配分は、B格、BB格を中心に投資を行ないました。
- 通貨別配分は、米ドル建てのローンのみを組み入れました。
- 業種別配分は、ビジネス機器・サービス、電子/電気、化学・プラスチックなどを上位としました。

今後の運用方針 (2015年7月31日現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○米国では、金融政策に関しては年内の利上げ実施が見込まれますが、FRBは利上げ開始後も緩やかなペースで政策金利を引き上げるとみています。このため、金利上昇圧力が働いても上昇ペースは緩やかになると見られますが、引き続きバンクローンに投資する投資家や運用者は、米国金利の動向を注視していると思われます。加えて、足元では軟調に推移している商品市況や中国情勢にも注目が集まると見られています。運用方針としましては、BB格からB格を中心に組み入れつつ、安定した収益の確保を目指す方針です。また、市場動向を見極めながら、石油関連事業セクターに加え、消費関連セクター等を注視します。また、相対的に割安な銘柄に投資を行ない、流動性や組入銘柄の信用力を考慮しながら分散投資とトータルリターンを強化していく予定です。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についての確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。



ファンドの特色

- 高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行なうことを基本とします。
- 米ドル建ての企業向け貸付債権(「バンクローン」といいます。)を実質的な主要投資対象*とします。なお、米ドル建ての高利回り事業債(ハイ・イールド・ボンド)等に実質的に投資する場合があります。
 ※「実質的な主要投資対象」とは、投資信託証券を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- ファンドは、分配頻度、為替ヘッジの有無の異なる、4本のファンドで構成されています。
 ◆「為替ヘッジあり」は、外貨建資産について、為替ヘッジを行なうことを基本とし、「為替ヘッジなし」は、外貨建資産について、為替ヘッジを行なわないことを基本とします。
- ファンドは、米ドル建てのバンクローンを主要投資対象とする投資信託証券(投資信託および外国投資信託の受益証券(投資法人および外国投資法人の投資証券を含みます。))および残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券を主要投資対象とする投資信託証券に投資します。
- 投資信託証券への投資は高位を維持することを基本とします。なお、通常の状態においては、米ドル建てのバンクローンを主要投資対象とする投資信託証券への投資を中心とします*が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。
 ※通常の状態においては、米ドル建てのバンクローンを主要投資対象とする投資信託証券への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。
- 投資信託証券への投資にあたっては、指定投資信託証券の中から、定性評価、定量評価等を勘案して選択した投資信託証券に投資を行なうことを基本とします。なお、組入投資信託証券については適宜見直しを行ないます。
 ◆指定投資信託証券は、定性評価、定量評価等を勘案して適宜見直しを行ないます。この際、指定投資信託証券として指定されていた投資信託証券が指定から外れる場合や、新たな投資信託証券が指定投資信託証券として指定される場合があります。

■指定投資信託証券である外国投資信託「ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンド(日本円為替ヘッジクラス/日本円クラス)」の投資方針等

外国投資信託「ノムラ・グローバル・マネージャー・セレクトーバンクローン・ファンド」の運用は、野村アセットマネジメント株式会社(投資顧問会社)およびドイチェ・インベストメント・マネジメント・アメリカズ・インク(副投資顧問会社)が行ないます。

- ・米ドル建てのバンクローンを主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行なうことを基本とします。なお、米ドル建てのハイ・イールド・ボンド*等に投資する場合があります。
 ※格付機関によってBB格相当以下の格付が付与されているもの(格付のない場合には同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。)をいいます。
- ・バンクローンへの投資にあたっては、原則として、弁済順位が高く、かつ担保が設定されたバンクローンに投資を行ないます。また、主として、取得時において格付機関によってBB格相当以下の格付が付与されたもの(格付のない場合には同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。)に投資を行ないます。
- ・日本円為替ヘッジクラスは、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
- ・日本円クラスは、組入外貨建資産について原則として為替ヘッジを行ないません。

※上記指定投資信託証券は2015年2月10日現在のものであり、今後変更となる場合があります。

- ファンドは、複数の投資信託証券(ファンド)を投資対象とするファンド・オブ・ファンズです。
- 構成するファンド間でスイッチングができます。
- 「毎月分配型」は、原則、毎月19日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益等を中心に分配を行なうことを基本とします。ただし、基準価額水準等によっては、売買益等が中心となる場合があります。なお、市況動向や基準価額水準等によっては、分配金額が大きく変動する場合があります。「年2回決算型」は、原則、毎年5月および11月の19日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として、利子・配当等収益等の水準および基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。
 *委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご判断ください。

◆お申込みは

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員
 一般社団法人日本投資顧問業協会会員



投資リスク

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、バンクローン等に実質的に投資する効果を有しますので、信用度の変動等によるバンクローン等の価格下落等により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、債券価格変動リスクなどがあります。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成35年11月20日まで(平成26年5月13日設定)
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月19日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
【年2回決算型】年2回の決算時(原則、毎年5月および11月の19日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース:1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円) または1万円以上1円単位
自動けいぞく投資コース:1万円以上1円単位
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スイッチング 構成するファンド間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ニューヨーク証券取引所 ・ニューヨークの銀行
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.24%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.08%(税抜年1.00%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 ^{注2} 年1.7475%程度 ^{注1} (税込) 注1 投資対象とする投資信託証券の純資産総額等によっては、記載の信託報酬率を下回る場合があります。 注2 ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。この値は、平成27年2月10日現在で想定されるものであり、指定投資信託証券の変更等により今後変更となる場合があります。
◆その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時・スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社
★サポートダイヤル★ 0120-753104(フリーダイヤル)
<受付時間>営業日の午前9時～午後5時
★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社>

野村アセットマネジメント株式会社
[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社>

株式会社りそな銀行
[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

◆お申込みは

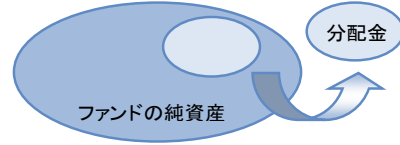
◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員
一般社団法人日本投資顧問業協会会員



分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



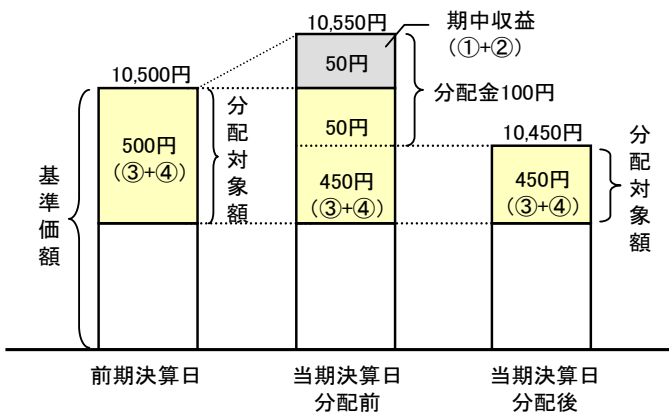
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

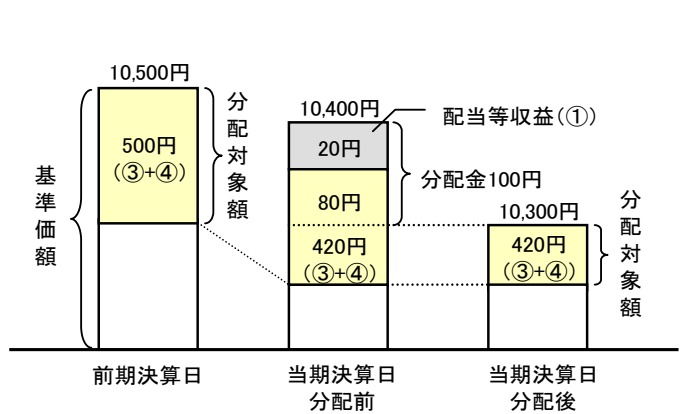
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合

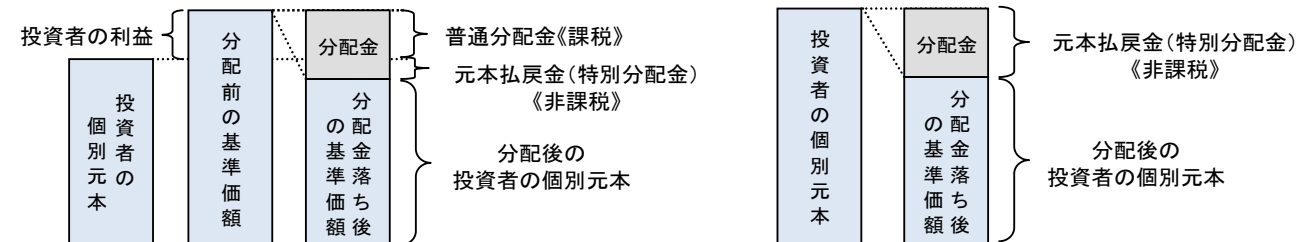


前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

- ◇普通分配金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇元本払戻金 … 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となります。



※投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。